



Press Release

平成29年10月20日

保育施設で感染症の集団発生がありました。手洗い等の予防対策の徹底をお願いします。

- 流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）の集団発生が日南市内の保育施設で、感染性胃腸炎の集団発生が日向市内の保育施設でありました。感染性胃腸炎の集団発生は今シーズン初となります。
- 冬季に向かい、集団生活においては感染症の集団発生もみられることから、手洗い等の日頃の感染予防対策の徹底をお願いします。

1 発生の概要

(1) 流行性耳下腺炎

①発生場所：日南市内の保育施設（園児93名、職員21名）1か所

②発生状況（新規有症状者数）

| | | | | | | | | | |
|----|--------------|--------------|---------------|--------------|--------------|-------------|--------------|--------------|--------------|
| 週 | 31週 8/2～ | 32週 8/7～ | 33週 8/14～ | 34週 8/21～ | 35週 8/28～ | 36週 9/4～ | 37週 9/11～ | 38週 9/18～ | 39週 9/25～ |
| 園児 | 1 | 3 | 2 | 1 | 0 | 9 | 4 | 12 | 16 |
| 週 | 40週 10/2～ | 41週 10/9～ | 42週 10/16～ | 計 | | | | | |
| 園児 | 4 | 7 | 1 | 60 | | | | | |

③主な症状：発熱、唾液腺の腫れ ※入院：1名（既に退院）

(2) 感染性胃腸炎

①発生場所：日向市内の保育施設（園児144名、職員37名）1か所

②発生状況（新規有症状者数）

| | | | | | | | | | |
|----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|----|
| | 10/13 | 10/14 | 10/15 | 10/16 | 10/17 | 10/18 | 10/19 | 10/20 | 計 |
| 園児 | 1 | 0 | 0 | 15 | 8 | 8 | 11 | 1 | 44 |

有症状者のうち3名からノロウイルスが確認された

③主な症状：吐き気、嘔吐、下痢、腹痛 ※入院等重症者なし

2 感染予防のための対応

(1) 流行性耳下腺炎（別紙1）

- ・流行性耳下腺炎はムンプスウイルスによる感染症で、年間を通して患者発生があり、発熱、唾液腺の膨張、圧痛を主症状とし、まれに髄膜炎や脳炎、睾丸炎、卵巣炎、難聴等を合併することがありますので、注意が必要です。
- ・咳やくしゃみが出る時は、ハンカチなどで口と鼻を覆う、マスクを着用するなど咳エチケットを守りましょう。
- ・予防にはワクチン接種が効果的です。
任意での接種ですので、接種を希望する場合はかかりつけ医にご相談ください。

(2) 感染性胃腸炎（別紙2）

- ・感染性胃腸炎はノロウイルスを主な原因とし、主に冬季に増加し、特に抵抗力の弱い乳幼児や高齢者などは重症化することもあるため、注意が必要です。
※いずれも、石けん、流水を用いての手洗い等の徹底をお願いします。

3 県内における定点あたり報告数の推移（別紙3 別紙4）

感染症発生動向調査事業における第41週（10/9～10/15）の小児科定点医療機関（県内36か所）からの報告数は、流行性耳下腺炎は定点あたり0.56（20例）で、感染性胃腸炎は定点あたり5.31（191例）、いずれも流行警報レベル開始基準値には達していません。

（お問い合わせ先）

福祉保健部 健康増進課感染症対策室 感染症対策担当

担当者：高藤、郡司、立山、安部

電話：0985-44-2620（内線 2494）

「流行性耳下腺炎」について

流行性耳下腺炎は、ムンプスウイルスが原因で発症する感染症で、「おたふくかぜ」とも呼ばれています。

年間を通じて発生がみられ、子どもから大人まで発症しますが、特に3～6歳で多く発症します。

感染から2～3週間の潜伏期を経て、唾液腺の膨張、圧痛、嚙下痛、発熱を主症状として発症します。

通常1～2週間で軽快しますが、無菌性髄膜炎、睾丸炎、卵巣炎、難聴などが合併することがあり、注意が必要です。

1 感染経路

接触、飛沫感染

咳やくしゃみなどにより飛び散った唾液や鼻水などを吸い込んで感染します。

2 症状

(1) 主症状

唾液腺の膨張、圧痛、嚙下痛、発熱

唾液腺の膨張は、両側あるいは片側の耳下腺にみられることがほとんどですが、顎下腺、舌下腺にも起こることがあり、通常48時間以内にピークが認められます。

(2) 合併症

無菌性髄膜炎、睾丸炎、卵巣炎、難聴など

難聴は、1,000例に1例程度で合併するとされており、永続的な障がいとなるので注意が必要です。



3 感染予防

- 咳エチケット(咳やくしゃみが出る時は、ハンカチなどで口を覆う、マスクを着用する)を守りましょう。
- 手洗い、うがいを励行しましょう。
- タオルなどは共有しないようにしましょう。
- 発熱、唾液腺の膨張などの症状があった場合は、早めに医療機関を受診しましょう。



感染を予防するには予防接種が有効です
効果的に予防するにはワクチンが唯一の予防方法です。
任意での接種になりますので、接種を希望する場合はかかりつけ医に相談ください。

4 治療方法

効果的な治療薬はないため、症状を抑える対症療法が中心となります。

5 参考

流行性耳下腺炎は、学校保健安全法における第2種の感染症とされており、耳下腺、顎下腺又は舌下腺の膨張が発現した後5日を経過し全身状態が良好になるまでは出席停止となっています。

ノロウイルスによる感染性胃腸炎とは？

1. ノロウイルスによる感染性胃腸炎とは？

- ・ 冬季を中心に年間を通じて発生し、誰もがかかるありふれた感染症の一つです。
- ・ 感染力が強いので、手などを介して周りの人に感染（二次感染）します。
- ・ 抵抗力の弱い乳幼児や高齢者では重症化することがあります。

2. どんなところで、何から感染するの？

主に食品（カキなどの二枚貝）を介して感染する場合（食中毒）と、人から人へと感染する場合があります。

食品から感染する場合は、汚染された食品を生の状態、あるいは十分に加熱しないで食べた場合に発症します。また、感染した人の便や嘔吐物を通して感染が起こります。つまり手や食品、物についたウイルスが、口に入ると感染してしまいます。

3. 症状は？

◎潜伏期間：1～2日

◎症 状：下痢、嘔吐、吐き気、腹痛

1～3日で治まります。感染しても症状が出ない場合もあります。

下痢等の症状がなくなっても、通常では1週間程度ふん便中に排泄され続きます。

4. 感染を予防するためには

◎手洗いの基本

- ・ 石けんを使い十分にこすり洗いをし、水で洗い流します。
- ・ 手洗い後の手ふきはペーパータオル等を使います。タオルを使用する場合は、毎回タオルを交換するか、個人用タオルを使用します。
- ・ 水道の蛇口は、手と一緒に洗うかペーパータオルを利用して締めると、手の再汚染を防げます。

◎食品等の衛生的な取扱い

- ・ 食材は十分に洗浄し、加熱すること。
- ・ 調理器具の清潔に十分気をつける。（包丁、まな板、布巾は家庭用漂白剤で消毒する等）

◎入浴（下痢や腹痛等の症状がある時）

- ・ 下痢の続く間は浴槽につからない。
- ・ 症状が改善しても、2～3週間程度は最後に入浴する。
- ・ お尻（肛門部）は、石鹸をつけて丁寧に洗う。
- ・ 浴槽の水は毎日交換する。
- ・ バスタオル等の共用は避ける。

◎洗濯（便や嘔吐物で衣類が汚れた場合）

- ・ ゴム手袋を着用し、流水で汚れを落とす。
- ・ 0.1%に薄めた塩素系消毒液 10分程度浸すか、85℃で1分間以上になるよう熱湯消毒してから、他の洗濯物と区分して洗う。

◎消毒

- ・ ウイルスが残りやすい便器やドアノブなどは、0.02%に薄めた家庭用漂白剤で拭く。その際は、手袋やマスク、エプロンを着用して行う。

◎排泄物・嘔吐物の処理（裏面）

- ・ ふん便やおう吐物の処理は、処理をする人自身への感染と、汚染拡大を防ぐため、適切な方法で、迅速、確実に行うことが必要です。

*0.1%の消毒液の作り方

原液濃度が6%の場合 60倍にする
原液 50mL を水 3L に入れる。

*0.02%の消毒液の作り方

原液濃度が6%の場合 300倍にする
原液 10mL を水 3L に入れる。

おう吐物（吐いたもの）の処理の仕方

◎おう吐物（吐いたもの）の処理

- ①吐いたものは、素手で触らないように（手袋を着用する等）気をつけながら、使い捨ての布やペーパータオルなどできれいにふきとる。
- ③吐いたところは、0.1%に薄めた次亜塩素酸ナトリウムをペーパータオルなどにしみこませてふく。
- ④ふきとったものは、手袋等と一緒にビニール袋に入れ、外にもれないようにして捨てる。
- ④終わったら手洗いをする。



①おう吐物や消毒液が直接触れぬよう、手袋を使用しましょう。手袋がない場合は、できるだけ手に付かないようにしてください。手袋はできるだけ使い捨てのものを使用します。

②おう吐物は新聞紙や捨ててもいい布などで、外側から内側にむけて静かに拭き取ります。

③0.1%に薄めた次亜塩素酸ナトリウムをペーパータオル等に染みこませ、できるだけ広い範囲を浸すように拭き取ります。



④ビニール袋等、液漏れしない密封できるものに、おう吐物や、拭き取った新聞等を入れ、口をしっかり縛ります。

⑤ナイロン袋等に、口を閉じた袋を入れます。手袋を裏返しながら脱ぎます。使い捨て手袋が無く、ゴム手袋を使用した場合は、脱いだものをそのまま消毒液で消毒します。

⑥内側を触らないようにして口を縛り、捨てます。手袋をして処理をしても、必ず処理の最後には石けんでよく手を洗ってください。

* 処理時・処理後は窓を開ける等換気を十分にしましょう。

(1) 県全体の発生状況

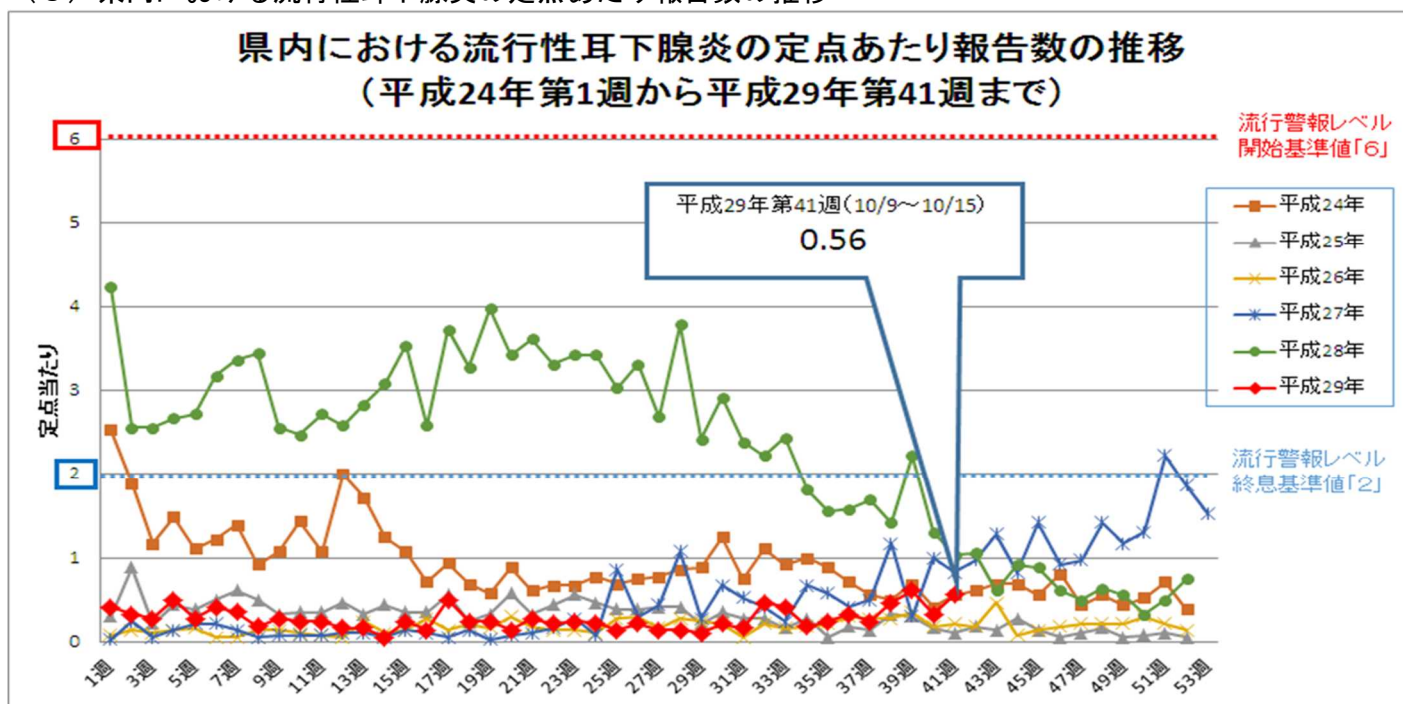
| 週数(平成 29 年) | 35 週 | 36 週 | 37 週 | 38 週 | 39 週 | 40 週 | 41 週 |
|-------------|------|------|------|------|------|------|------|
| 報告数 | 9 | 12 | 9 | 17 | 22 | 12 | 20 |
| 定点あたり | 0.25 | 0.33 | 0.25 | 0.47 | 0.61 | 0.33 | 0.56 |

- ・ 注意報レベル基準値 : 定点あたり「3」を超えたとき
- ・ 流行警報レベル開始基準値 : 定点あたり「6」を超えたとき
- ・ 流行警報レベル終息基準値 : 定点あたり「2」を下回ったとき

(2) 平成 29 年第 41 週 (10/9~10/15) の保健所ごとの発生状況

| 地区名(保健所) | 宮崎市 | 都城 | 延岡 | 日南 | 小林 | 高鍋 | 高千穂 | 日向 | 中央 |
|----------|-----|------|------|------|----|----|-----|----|----|
| 報告数 | 0 | 2 | 1 | 17 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 定点あたり | 0 | 0.33 | 0.25 | 5.67 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |

(3) 県内における流行性耳下腺炎の定点あたり報告数の推移



(4) 過去の全国と宮崎県の発生状況

| 年 | 全国(報告数) | 宮崎県(報告数) |
|---------------------------|---------|----------|
| 平成 25 年 | 41,016 | 587 |
| 平成 26 年 | 46,342 | 355 |
| 平成 27 年 | 81,046 | 1,045 |
| 平成 28 年 | 158,994 | 4,329 |
| 平成 29 年 (40 週:10/8 まで) | 66,556 | 394 |

(1) 県全体の発生状況

| 週数(平成29年) | 35週 | 36週 | 37週 | 38週 | 39週 | 40週 | 41週 |
|-----------|------|------|------|------|------|------|------|
| 報告数 | 275 | 224 | 226 | 171 | 199 | 233 | 191 |
| 定点あたり | 7.64 | 6.22 | 6.28 | 4.75 | 5.53 | 6.47 | 5.31 |

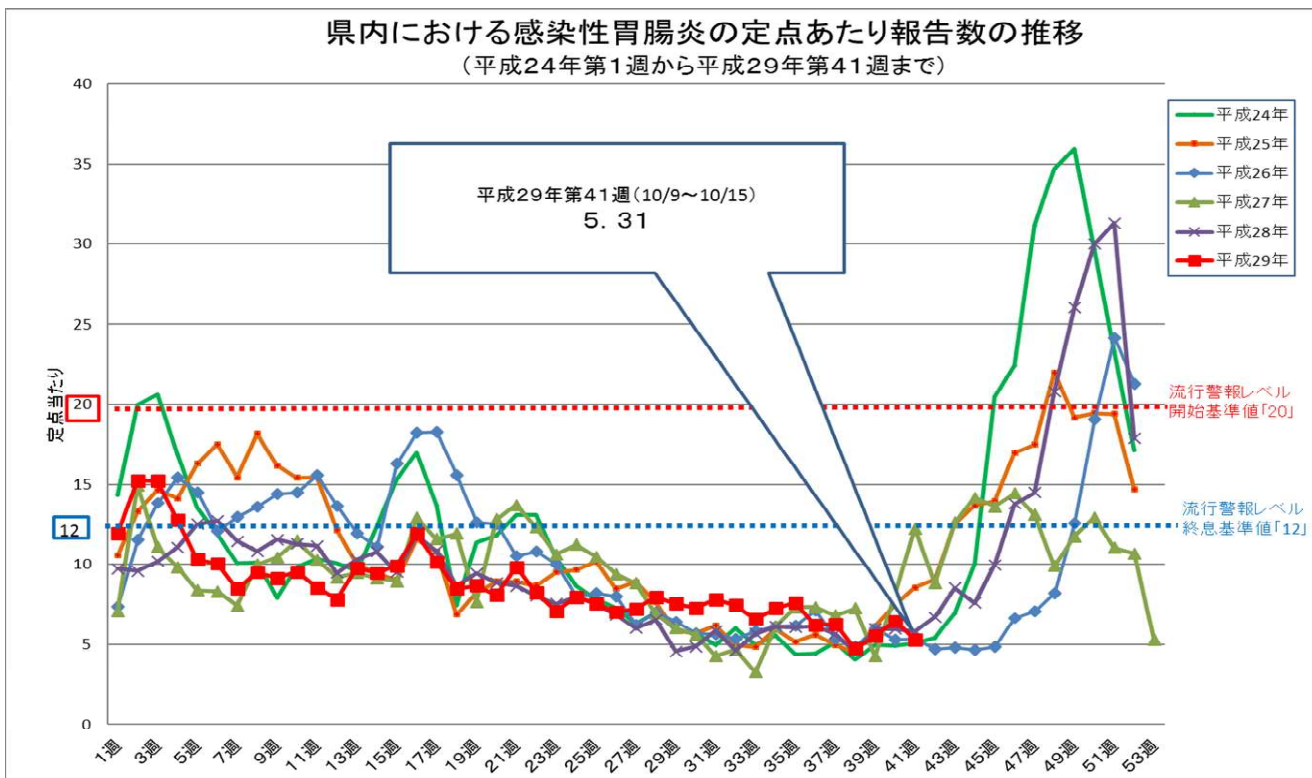
【流行警報レベル】

- ・開始基準値 : 定点あたり「 20 」
- ・終息基準値 : 定点あたり「 12 」

(2) 平成29年第41週(10/9~10/15)の各保健所ごとの発生状況

| 地区名(保健所) | 宮崎市 | 都城 | 延岡 | 日南 | 小林 | 高鍋 | 高千穂 | 日向 | 中央 |
|----------|------|------|------|------|------|------|------|------|-------|
| 報告数 | 38 | 28 | 25 | 13 | 23 | 16 | 5 | 26 | 17 |
| 定点あたり | 3.80 | 4.67 | 6.25 | 4.33 | 7.67 | 4.00 | 5.00 | 6.50 | 17.00 |

(3) 県内における感染症胃腸炎の定点あたり報告数の推移



(4) 過去の全国と宮崎県の発生状況

| 年 | 全国(報告数) | 宮崎県(報告数) |
|-----------------------|-----------|----------|
| 平成25年 | 1,071,415 | 20,900 |
| 平成26年 | 1,005,079 | 19,364 |
| 平成27年 | 987,912 | 18,303 |
| 平成28年 | 1,116,104 | 19,094 |
| 平成29年 (40週:10/8まで) | 659,116 | 12,549 |